

雨の日ながの幼稚園

及川ふみ

いよく梅雨の季節になりました。お部屋の中ではかなり遊ぶ日も多くなる事で御座いませう。二雨の日ながの幼稚園一年のうちこうした季節の保育も考へて見なければなりません。日ながは春にのみ限られてゐる様で御座います。幼稚園の日ながは雨の多いこの梅雨のときでは御座いますまいか。

振つけ面白い、いろくの遊戯を充分にさせて見るのもこの季節で御座いませうし

椅子まわり遊び、子まろ子まろ、花一もんめ、さくらさくら、こゝはぎこの細道ぢや、王様遊び

なぎの、遊びのやうな、ゲームの様なものも幼児を楽しませながらなく遊ぶ事が出来ませう。

女の子の遊びの王座をしめる、おまゝこもこの季節には、日毎日こにくりかへされる事で御座いませう。こ

は、やぶけてゐないか、よごれてゐないか、お道具も、へつてゐないか、なぎいろくしらべて、まのへておく事も必要な心づかひで御座いませう。

しりとりに遊び

ものゝ名の語尾をこりくつきくつきつけて、ゆくのもなかく面白くもので御座います。たべるもの、動物、植物、おもちゃ、なぎ幼児に近づきものを、それからそれへ云ひつけて考へ出します。これを黒板にかたかなで、かきつけておきます。するくよめる人、拾ひよみをするなぎあつて面白く幾度もよみかへしております。

かしらとり

ハの字のつくもの ハナ ハガキ ハシ ハト ハな
きつきくきに思ひ出しくして云ひつ々ける遊びもよろしう御座いませう。

ました。實に一生懸命に畫きます。この人がこんなに一心に、ものをすることがない程に熱心で御座いました。ぎざぎざの面倒な葉もすつかりかき上げました。

クレオンや、色鉛筆の様に、さきのかたいものは、畫くものゝ心がまへが少々たりなくても、その先が大體自分の思ふまゝころへ、おちついてくれませんが、筆であります。紙のある部分へ墨をつけるのには、餘程の心がまへをしなくては思ふ様にはかけないので御座います。

今まで、幼児に筆で字をかゝせたり、繪をかゝせたりする事は、幾度もなくいたしました。繪をかゝせたり、字をかゝせたりでも、普通に、クレオンや、色鉛筆でかくの事は、大層その氣持が、ちがつております上に、更に定められた、線の上をたぎつて脱線しない様に、描いてゆく事は、餘程その心境をおちつけて、しなければ出来ない事で御座います。珍しい事も手傳つた事と思はれますが皆がきましたので、次々下繪を作つておいて一日に一三人づゝかゝせてみました。この幼児も大嬉びで描きますし、落つきの少ない人も、之をしてゐる間は實に靜に注意深くやつております。こんな様子をながめておりました。

層に、此筆のたぎりゑをするのに元氣つけられました。

五月のお節句の數日前に、このころみはじめられましたので、模造紙三枚つぎ合せて、大きな鯉の下繪をつきました。三日ばかり組の人達が入れかはり、たちかはりしてきうく線をぬり、色をぬり上げて、お節句の前日に、お部屋の天井にミゞくほぎの竹竿に此鯉をたてました。

この筆のたぎりゑは大きな繪をかゝる事に意義がありますので、したがつてその間をぬりつづす場面も相當大きいので御座いますから、これにぬる繪具は、普通の水繪具では色がうすゝぎますから、ポスターカラーや、泥繪具式のあつみのあるつよい色をぬつた方がよろしう御座います。

又下繪は、はじめのうちは私共がかきましたが、だんだんには幼児自身にも下繪をつくらせて、自作の下繪ではじめたいと思ひまして數枚つくらせて見ました。

靜かに、雨のふる日ながの一つの幼児のお仕事にふさはしい事と思はれます。

いろくくきくかきつらねました。雨の日の保育、終日の室内保育等も私共が考へなければならぬ事で御座います。